

LET関西早期英語教育研究部会

特別講演会

「比較認知発達科学から みた乳幼児の心の発達」

講師：明和 政子 先生（京都大学大学院 教授）

2022年 3月24日 木 10:30~12:00

On ZOOM（先着100名）参加費：無料 ※後日動画配信予定

ご講演内容

ヒトを含む生物は、「身体」を持っています。身体には物理的制約があります。身体が環境に能動的にふるまう過程で、膨大な量の情報はその制約に基づきふるまうにかけられます。情報は、身体をもつその個体にとって意味あるものが選択、構造化されていき、知性が創発・発達していきます。さらに、個の発達は、周囲の社会、文化の形成に影響を与え、それが次世代の個の形質を創発させる制約環境そのものとなります。こうした見方から、社会的な生物として進化してきたヒト特有の形質、社会的認知が創発・発達する軌跡、その普遍性と多様性、その背後にあるメカニズムについて議論します。今、私たちが生きる環境は未曾有のスケールで変化しています。「ヒトとは何か」という基本的理解を軸に、人類の未来環境をどのように設計していくべきかについて考えてみたいと思います。

明和 政子 先生<プロフィール>

京都大学教育学部卒業。同大学院教育学研究科博士後期課程修了、博士（教育学）。京都大学霊長類研究所研究員などを経て、現在、京都大学大学院教育学研究科教授。日本学術会議連携会員。ヒトとヒト以外の霊長類の心のはたらきを胎児期から比較し、ヒト特有の心の発達とその進化的基盤を明らかにする「比較認知発達科学」という分野を世界にさきがけて開拓した。

著書に「ヒトの発達の謎を解くー胎児期から人類の未来まで（ちくま新書）」「まねが育むヒトの心（岩波ジュニア新書）」など多数。

2016年放送のNHKスペシャル2編『ママたちが非常事態！？最新科学で迫るニッポンの子育て1・2』、2017年放送の『ニッポンの家族が非常事態！？～第1集わが子がキレル本当のワケ～』等の監修・出演により、現代社会が抱える子育てにかんする様々な問題を、最新の科学的知見により理解する活動にも力を注いでいる。



お申込み：Google Formよりお願いいたします（2022年2月10日より受付開始）
動画での視聴をご希望の方もこちらからお願いします

<https://forms.gle/Sq2AHpUCFk9AyLJB7>

お問合せ：LET関西支部 早期英語教育研究部会 事務局/齊藤倫子：eesiglet@gmail.com

